

一般質問



道路整備と維持管理体制

星野 安久 議員

計画的な道路管理の考えは

質問 自治会からの道路整備の要望にどの程度応えられているか。また、管理の不十分さによる事故が後を絶たない。計画的な管理の考えは。

建設部長 自治会要望に対する対応実施率は7割程度です。道路管理については、道路パトロールや市民からの通報により破損箇所を発見、確認し、事故防止のため早急に補修していきます。

(仮称)北橋運動場への道路拡幅を請問 まもなく使用開始になる(仮称)北橋運動場へのアクセス道路が狭く、通行に支障が予想される。拡幅できないか。

建設部長 本路線は地域の基幹道路であることから、優先度や緊急度、熟度、関係地権者の同意状況などを総合的に判断し検討します。早急な吉岡バイパス延伸を願う質問 吉岡バイパスを市内につなげることが街の活性化と人口減少対策になる。一日も早い延伸を願うが、見通しは。



車のすり替えができる
運動場へのアクセス道路



どうする、これからの中川

細谷 浩 議員

南部地域にも無料バスの運行を

質問 北部地域では「福祉のあし」事業で無料バスが、渋川医療センターへ乗り入れているが、南部地域での運行開始予定は。

建設部長 今後速やかに、吉岡町と十分な協議や調整を重ね、複数ルートの比較検討や都市計画道路の位置付けなどを検討します。
今年の除雪対策

質問 除雪範囲を広げることはできなかいか。自治会への除雪協力要請は、どうなっているか。

建設部長 除雪の委託業者が対応できる路線数には限りがあるので拡大は難しいですが、除雪路線の見直しを含め対応します。自治会には、積雪が概ね10cmを超えた場合に協力をお願いします。

市道の拡幅を

質問 高渋バイパスが開通すると有馬企業団地南側の市道への車の流入が増加すると考えるが、市道拡幅の計画は。

建設部長 この市道は吉岡町境であることから、これまでに事業化に向け、工事実施方法・費用負担・スケジュール等について、吉岡町と協議を行つてあります。

公園整備を

質問 人口増が期待できる南部地域に、子育て世代や高齢者が楽しめる遊具の充実と公園の整備は、新たに公園を設置する計画はありませんが、子育て世代



南部地域での運行が待たれる
「福祉のあし」



やお年寄りに身近な公園の整備についても、地域間のバランス、用地確保、防災面等、総合的に勘案し、検討したいと考えます。

ペットの不妊手術に助成金を

質問 飼育放棄されるペットを無くす取り組みとして、不妊手術の助成が県内4市9町2村で行われているが、本市の取り組みは。

保健福祉部長 動物愛護の面からも、大変重要な問題としてとらえていますので、今後も早期に実現できるように、調整、検討を進めています。

一般質問



少子高齢化に対する渋川市の対策は

山崎 正男 議員

高齢者対策について
質問 増え続ける高齢の要介護者の受入対象の特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設の今後の増床計画は。

保健福祉部長 今後の計画は現在の収容水準を最低限維持しつつ、高齢者数の増加や介護保険料の上昇も十分に考慮して計画します。



未来を担う子どもたち大切に

福祉事業に予算を配分すべきとの理由で廃止になりました。身近な高齢者サロンなどを充実させたい。

子育て支援

質問 少子化の原因に子育てにかかる経済的負担がある。給食費完全無料化や親の金銭的負担を軽減するための施策を考えられないか。

教育部長

給食費完全無料化については、財源調整を図る中で進めています。金銭的負担軽減については、家庭環境に応じた保育料軽減、きめ細かな指導の充実、奨学金無利子貸与等を行っています。

質問 市役所本庁舎に耐震性がないのは被災時に市民サービスの低下が懸念される。早急に耐震補強を行っていかないか。

総務部長

本庁舎は、災害時に対応可能な司令塔としての役割を發揮し、行政機能を停滞させないためにも、耐震改修の検討を進めたいと考えています。

質問 本市は地盤が強固であることを客観的に示せるか。また企業誘致に活かす考えは。

商工観光部長

地盤の強さを表す指標として標準貫入試験のN値が用いられます。有馬企業団地ではN値が地山で35・5あります。

質問 粉ミルクの供給の対応が出来ないか。

総務部長

現在は粉ミルクの備蓄をしています。液体ミルクの購入・備蓄は関係諸法令の整備や国内生産が行われた際に検討します。なお、海外の都市と災害協定を締結する予定はありません。

質問 自主防災組織への支援方針と、活動が活発でない地域に対する支援方法の考え方。

総務部長

防災講話の講師派遣や防災訓練の指導、防災資機材購入補助を引き続き行い、市内の先進



災害発生時への備えとして

池田 祐輔 議員

保健福祉部長 ひとり暮らし高齢者の保養事業は、慰安事業よりも



乳児の防災対策に液体ミルクを

的な取り組みを他地域へ紹介して、防災活動の底上げを図ります。

本市の強みを活かした企業誘致